

第51回[50周年]十勝川イカダ下り

キャプテン会議（安全教育）

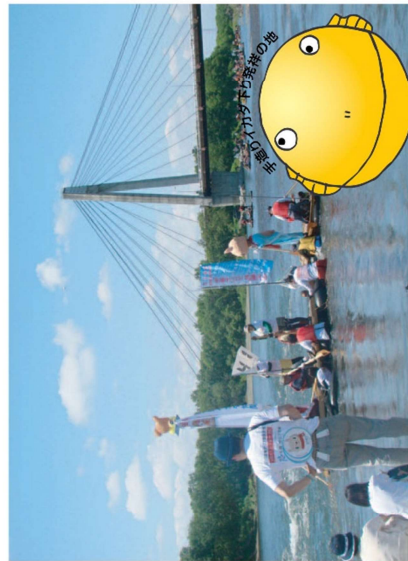
主催 十勝川イカダ下り実行委員会

会場 十勝プラザ2F視聴覚室

令和5年7月7日 金曜日 18:30 受付開始

司会進行 斎藤

開会	実行委員長 挨拶	19:00~19:05	藤堂
1.実行委員会規約・参加資格・参加者の心得		19:05~19:15	保木
2.全体工程		19:15~19:25	谷本
	(1) イカダ作成時の注意点		
	(2) 前日・当日のスケジュール		
3.陸上安全監視班 注意事項		19:25~19:35	小原
	(1) 車両進入経路及び会場での安全注意事項		
	(2) 監視班配置、緊急連絡と組織形態		
	(3) 中止時の連絡		
4.水上安全監視班 注意事項		19:35~19:50	関本
	(1) 乗船時の注意事項、救命胴衣着用の注意点		
	(2) 河道状況（危険箇所）		
5 十勝川イカダ下りQ&A		19:50~20:00	花染
6.十勝川感謝記念イベント		20:00~20:15	保木・篠田・花染
	(1) 中州に寄って宝をゲットしよう		
	(2) 熱気球に乗って十勝川の鳥瞰		
	(3) 十勝川流域生産原料の“アンパンまき”		
7.集合写真撮影要領		20:15~20:25	赤本
8.イカダ番号発表		20:25~20:35	畠山
9.傷害保険		20:35~20:45	伊藤
10.質疑応答（疑問点・不明点の質問と返答による確認）		20:45~20:50	藤堂
閉会			



マスコットのイカぼろ

当日は手ぶらで、のんびり下るだけ

貸しイカダ承ります。

100名
様限り

※7月7日(金)のキャブテン会場内で、参加手続き後、同会場で安全講習を受けて下さい。

イカダの定員は2～4名となっています。
〔本体1.8×1.8m、タイヤ4本、随半付〕、オール・ライフジャケットは
人数分、ジンスカン、コンロ、イカダ運搬・参加料、傷害保険料込。
乗合の場合も有ります。連絡用携帯電話と飲み物等は各自で用意。
※ゴールに到着した貸しイカダは乗客者で指定された所まで運び、タイヤの空気抜
きまでの後片付けと使用した物を返却。キャブテンはゴール本部受付に到着報告を
してください。

第51回 2023年
(令和5年)

十勝川イカダ下り

起点/午前9時の花火を台図に(十勝大橋上流帯広側)～終点/約9km(十勝川温泉中央大橋下流)

最終受付・キャブテン会議(安全講習会)

7月7日(金)夜7時～

●受付/18時30分～●講習会/19時～(マスコ着用緩和)

●参加費/お一人様 2,500円(保険付等)

●とちまちプラザ2F視聴覚室 帯広市西4条南13丁目 ☎(0155)22-7890

◆お問合せ先◆

十勝川イカダ下り実行委員会 事務局

・ <http://www.tokachigawa-ikada.net/> ・ E-mail: ikabo42th@gmail.com

・ 090-5950-5030 (はたけやま)

主催◆十勝川イカダ下り実行委員会 後援◆帯広開発建設部・十勝総合振興局・帯広市・音更町・音更町十勝川温泉観光協会・十勝毎日新聞社・北海道新聞帯広支社・NHK帯広放送局 協力◆帯広市川西農業協同組合

参加募る

7/16 (SUN)

恒例のシブギスカー、
モデル露天風呂も
再会します。



川と夢み川に遊び、明日を拓く

100th
十勝川治水
100年

記念事業に参加協力

元祖「イカダ下り発祥の地」
十勝川温泉記念イベント

十勝川治水
100周年

大正12年から始まった治水の歴史

十勝の宝島を探して宝をGET

中洲に寄って宝を
GETしよう!

中洲の何処かにお宝のつながらる球が眠っています。
ヒントは当日の早朝会議にてお知らせします。
(産直野菜500Kg相当の財宝?)

大空から十勝川を探検

熱気球体験搭乗!!

時間 ● am6:00～8:00

料金 ● お一人様 1,000円

※「十勝空探検ツアー」の資格を
使用して搭乗体験をします。火
気厳禁に必ず注意・中断する事もあります。

先着順

1. 実行委員会規約・参加資格・参加者の心得

十勝川イカダ下り実行委員会

名誉会長	平林 英明	ランチョ・エルパソ
実行委員長	藤堂 博	NPO法人 さけの学舎
事務局	畠山 悟	山田機械工業(株)
	谷本 幸一	西江建設(株)
	古田 勝巳	(株)鉄建
委 員	赤本 秋博	やぶデザイン
	刈根 章	ライブ&カラオケ ACB
	室瀬 秋宏	アークコーポレーション(株)
	保木 清隆	(株)共成レンテム
	関本 政行	(株)北開水工コンサルタント
	住友 裕明	(株)北開水工コンサルタント
	花染 良慈	萩原建設工業(株)
	斉藤 奨	(株)ネクスコメンテナンス北海道
	保科 太良	(株)ネクスコメンテナンス北海道
	小原 得誘	西江建設(株)
	篠田 博行	十勝空旅団

十勝川イカダ下り後援

帯広開発建設部
十勝総合振興局
帯広市
音更町
音更町十勝川温泉観光協会
十勝毎日新聞社
北海道新聞帯広支社
NHK帯広放送局

(設立の趣旨)

かつて、仲間同士が集まり『子供の頃、山や川で遊んだ思い出を今一度復活させよう』と呼びかけて、1973年(昭和48年7月)に第1回目の十勝川イカダ下りが始まった。今では全国に広がりを見せてきたイカダ下りの『元祖』として名を馳せるまでになった。スタートから四半世紀経った『第25回 十勝川イカダ下り』の開催を節目に、イカダ下り運営の根幹となる世話人会が解散するとの新聞報道があり存続が危ぶまれた。日本で一番歴史が有り、かつ地域の夏の風物詩で有る『子供から大人まで一緒に楽しめる手作りイカダのイベントを残す』を合言葉に有志が集まり、この雄大な十勝川の自然を背景に行う十勝川イカダ下りの継続と企画のために本会を設立する。

十勝川イカダ下り実行委員会規約

(名称)

第1条 本会は、十勝川イカダ下り実行委員会（以下「委員会」という）と称する。

(目的)

第2条 委員会は母なる川、十勝川で仲間同士や親子そろって手作りのイカダで子供心のロマンを求め楽しみ交流を深め、川の生命の営みを肌で体験するための「十勝川イカダ下り」を開催することを目的とする。

(事業)

第3条 委員会は前条の目的を達成するためにボランティアで次の事業を行う。

- (1) 手作りイカダによる十勝川イカダ下り
- (2) 目的達成に関連するその他の事業（部会方式も可能）

(構成)

第4条 委員会は目的に賛同する者で構成する。

(委員会)

第5条 委員会は必要に応じて実行委員長が召集する。但し緊急を要する場合は、事務局長が代行することが出来る。

・委員会は次の必要事項を協議決定する。

- (1) 規約の改廃
- (2) 事業及び企画、収支予算等
- (3) キャプテン会の招集
- (4) 委員会・役員会が必要と認めたその他の事項

(役員及び役員会)

第6条 委員会は次の役員をもって役員会を設ける。尚責務は下記に示す。

- (1) 実行委員長 (2) 事務局長 (3) 庶務 (4) 会計 (5) 監査

[各責務]

- (1) 実行委員長は各事業の実施遂行に責任を持つ。
- (2) 事務局長は委員会の継続運営と企画に責任を持つ。
- (3) 庶務は委員会の一般的事務を司る。
- (4) 会計は委員会にかかわる全ての収支金の管理に責任を持つ。
- (5) 監査は委員会にかかわる会計の監査を行う。
- (6) 役員会が主体となって協賛の協力依頼を行う。

(事務局)

第7条 事務局の設置等に付いては役員会で決める。

(キャプテン会)

第8条 参加グループの各代表者による会。

1. キャプテン会は「十勝川イカダ下り」参加グループの代表者(キャプテン)で構成する。
2. 各キャプテンは委員会及びキャプテン会の決定事項を遵守する。
3. 各キャプテンは該当グループの事故等の責任に付いて確約書を委員会に提出する。

(費用)

第9条 委員会の運営並びに事業の実施に必要な費用は参加会費、協賛金その他の収入を持って充てる。

(その他)

第10条 この規約に定めるもののほか、委員会の目的遂行上必要な事項は委員会または役員会で協議決定する。

(付則)

この規約は平成11年3月18日から施行したものを平成21年8月31日に一部改正し実施に移す。

〈イカダ参加資格〉

1. 救命胴衣を必ず着用できる方。
2. 参加者の心得を厳守できる方。

《参加者の心得》

1. キャプテン(代表責任者)は、18歳以上の方で電話連絡の取れる方に限ります。
2. 全ての行動には、参加者自身の責任において行動して下さい。
3. アルコールの飲用は様々な事故につながる恐れがありますので厳に慎むこと。
4. スタート・ゴールに於いては、身廻りの清掃は各チームで行うこと。
5. 当日、ロケット花火は野火の発生原因になるため禁止!

〈イカダの構造等について〉

1. 各チームのイカダには、救命用チューブ、推進用パドル(櫂)1.8mぐらい、竹ざお(3.6mで岸の枝払に使用)、救助ロープなどを準備して下さい。
2. イカダの素材・構造等については指定しませんが、乗員の人数を考慮した浮力があるイカダとし、転覆の際、脱出しやすい構造にして下さい。
3. 他のイカダを妨げない大きさ、河川では陸・水上
監視班の指示に従って下さい。
4. 受付したイカダ番号を必ず掲げて下さい。

〈乗船者の服装〉

イカダに乗る者は、腕、足など露出部分を少なくし、靴を履き、切り傷等を防いで下さい。転覆時には泳ぎ易い服装にして下さい。

〈緊急時の連絡方法〉

1. 万一、緊急事態が生じた場合は、前後のイカダと連絡をとり素早く対処し、救助要請を近くの水上班か本部に携帯電話で連絡を入れて下さい。また、呼び笛(ホイッスル)で監視班に知らして下さい。
2. 負傷者が出た場合はゴール本部に届けて下さい。

3. 破壊、沈没等で、ゴールに着岸できないチームは、必ず本部に届け、後片付けをして下さい。本部に携帯電話でリタイアする旨を伝えて下さい。
4. キャプテンは必ず携帯電話を持って乗船。

〈乗船者の変更届け、キャプテン会議〉

1. 当日受付は乗船者の変更のみとし、新たなイカダの参加受付は致しません。
2. キャプテンはスタート地点のキャプテン会議に必ず出席して下さい。(当日の河川状況等の説明)
3. 変更届けについて
参加申込み名簿に変更が生じた場合は、当日の受付に変更届けを提出して下さい。

〈スタート方法〉

1. 出航前に審査用写真撮影をします。イカダ番号を必ず掲げて下さい。
2. 花火の打ち上げ後「スタートマン」が出航の指示をしますので、しばらくお待ち下さい。
3. スタートマンが、乗船人数を確認します。乗船人数が合わない時は出発できません。

〈未成年者〉

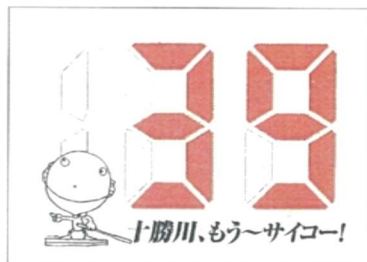
1. 未成年者(小・中学生等)は、保護者の同意ならびに同伴を得て下さい。



2. 全体工程

《イカダ作成時の注意点》

基本的イカダ



十勝川、もうサイコー!

旗は、登録舟番号を塗り分け、当日掲げる

- 紫外線対策
(子供にもサングラスを)
- 頭/日除け用帽子
- 首/フェイスタオル
- 手/軍手 ●足/靴

安心して遊ぶためには救命胴衣を着用。落水時に引上げフックが付いた物が好ましい。

佐ボート
±壁止

貴重品類の保管について

- 発泡ケース等の浮力のある入れ物に入れ、着水時に浮くようにしましょう。
- 飲み物類と一緒にすると、転覆時に川底に沈みゴミになります。
- 携帯電話はフリーザー袋等を二重にし防水効果をたかめましょう。

飲み物など

- 熱中症対策(水分補給を)
- アルコールは水分補給にはなりません。

乗船者の重量に耐うる十分な浮力材。又は、大型車のタイヤチューブ、ベットボトル、スタイロホーム等を利用したもの。エアーは、当委員会で準備するコンプレッサーも使用可。ただし、混雑する事がありますので、時間の余裕を持って作業を行なってください。お持ちの方はご持参ください。

- ホイッスル
(緊急事態を告げるために)
野外では、大声で叫んでも、聞こえません。各自ライフジャケットと共に準備しましょう。

オールは長さ約1.8mが使いやすい。カヌー用もOK。



コンパネとタルキ等

旗立て金具

交換チューブはバンク時の交換と救助用を予備として装備しましょう

固定用ロープ又はゴムバンドで甲板とタイヤを固定。



以前は十勝大橋の橋脚に激突する事故もありましたが、近年は、流木にぶつかり転覆するが多い。

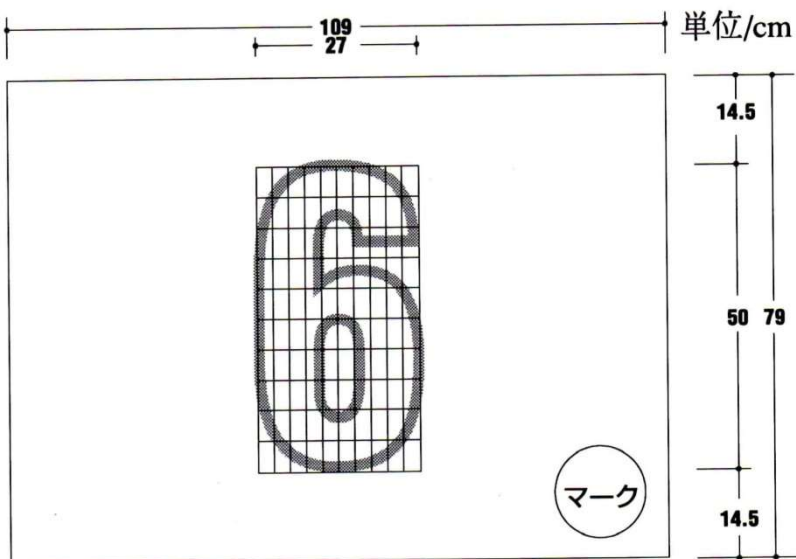
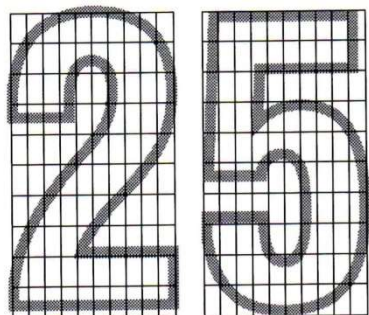
早めの進路変更をするか、流木に激突する前にイカダを捨てて川に飛び込み救助を待つか、自力で岸に上がる。

◀2008年の事故現場

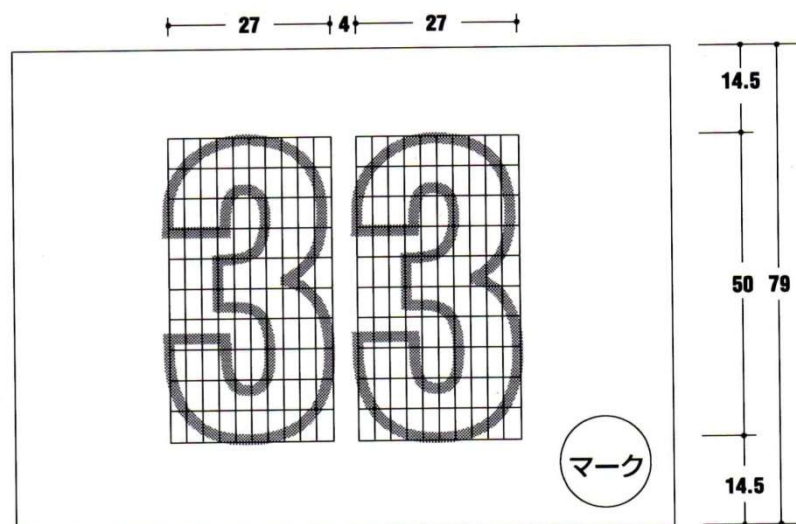
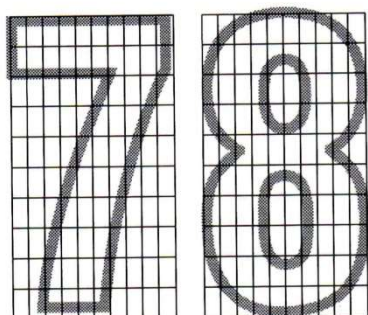
※詳しくはキャプテン会議で説明します。

イカダ旗番号の書き方

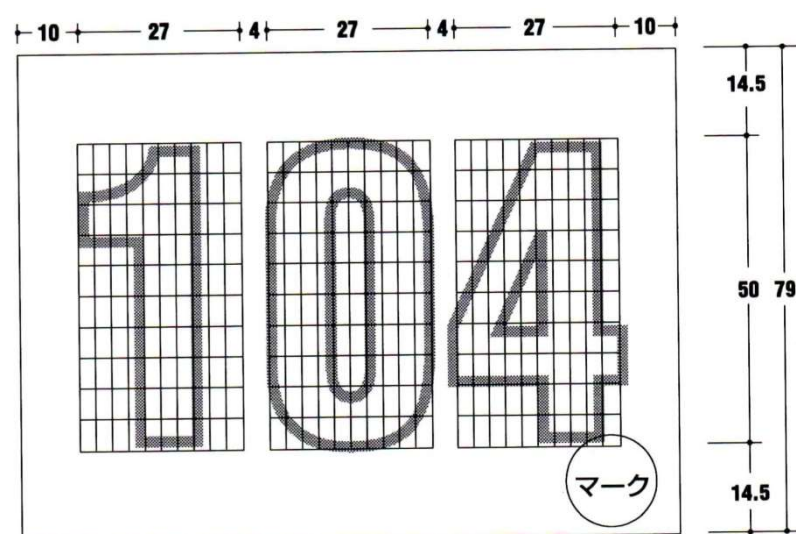
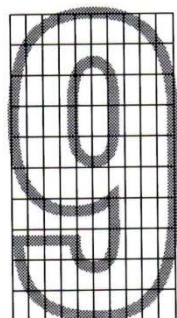
1~9の場合



10～99の場合



100～場合



《前日・当日のスケジュール》

前日準備 7月15日（土）

〔十勝大橋右岸上流 スタート会場〕

- 9:00 実行委員会 スタート会場（十勝大橋）に集合
- 9:30 実行委員会 スタート会場 準備開始
- 11:30 実行委員会 スタート会場にトイレ・コンプレッサー設置
- 13:00～17:00 一般イカダ準備受け入れ 開始（イカダ現地搬入・組立 準備作業）

当日 7月16日（日）

〔熱気球 体験会場〕

6:00 熱気球体験受付（十勝大橋右岸上流）

6:00～8:00 熱気球体験

〔イカダ下り スタート会場〕

8:00 参加受付開始

8:30 キャプテン会議（イカダ乗船者も本部テント前に集合）

打ち上げ花火、開会宣言、実行委員長挨拶

参加者への確認事項 説明（スタート・ゴール時・河川状況・安全対策などの注意事項他）

審査員紹介 集合写真撮影

9:00 スタート準備開始（人員数・イカダ状態チェック）

【 イカダ下り スタート 順次出発 コンテスト審査開始 ゴール迄下る！】

11:00 到着者は本部へ報告、後、イカダの解体撤去

ライフジャケット返品を行う その後随時焼肉開始

12:00 アンパン撒き（イカダゴール状況により前後あり）

12:30 各商品授与→①宝島賞品授与②イカダコンテスト賞品授与③一般客農産物引き換え授与④宝島を見つけられなかったチーム農産品授与

13:00 イカダコンテスト審査委員長審査総評

13:30 十勝川イカダ下り実行委員会会場管理終了（以後は全て自己管理責任となります）



3. 陸上安全監視班 注意事項

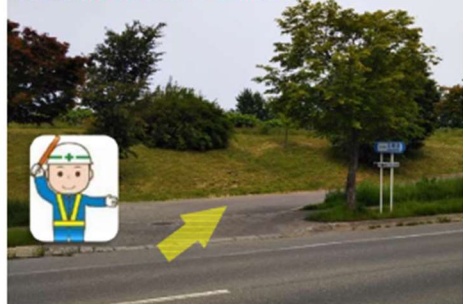
《車両進入経路及び会場での安全注意事項》



車両出入口付近



交通誘導員の指示を守ってください

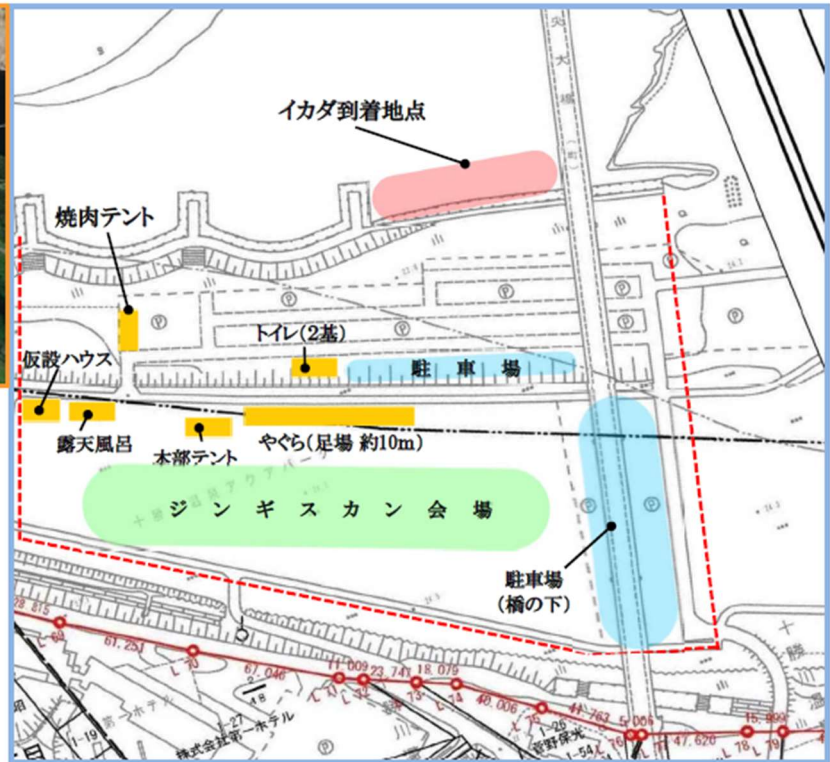


スタート地点周辺図



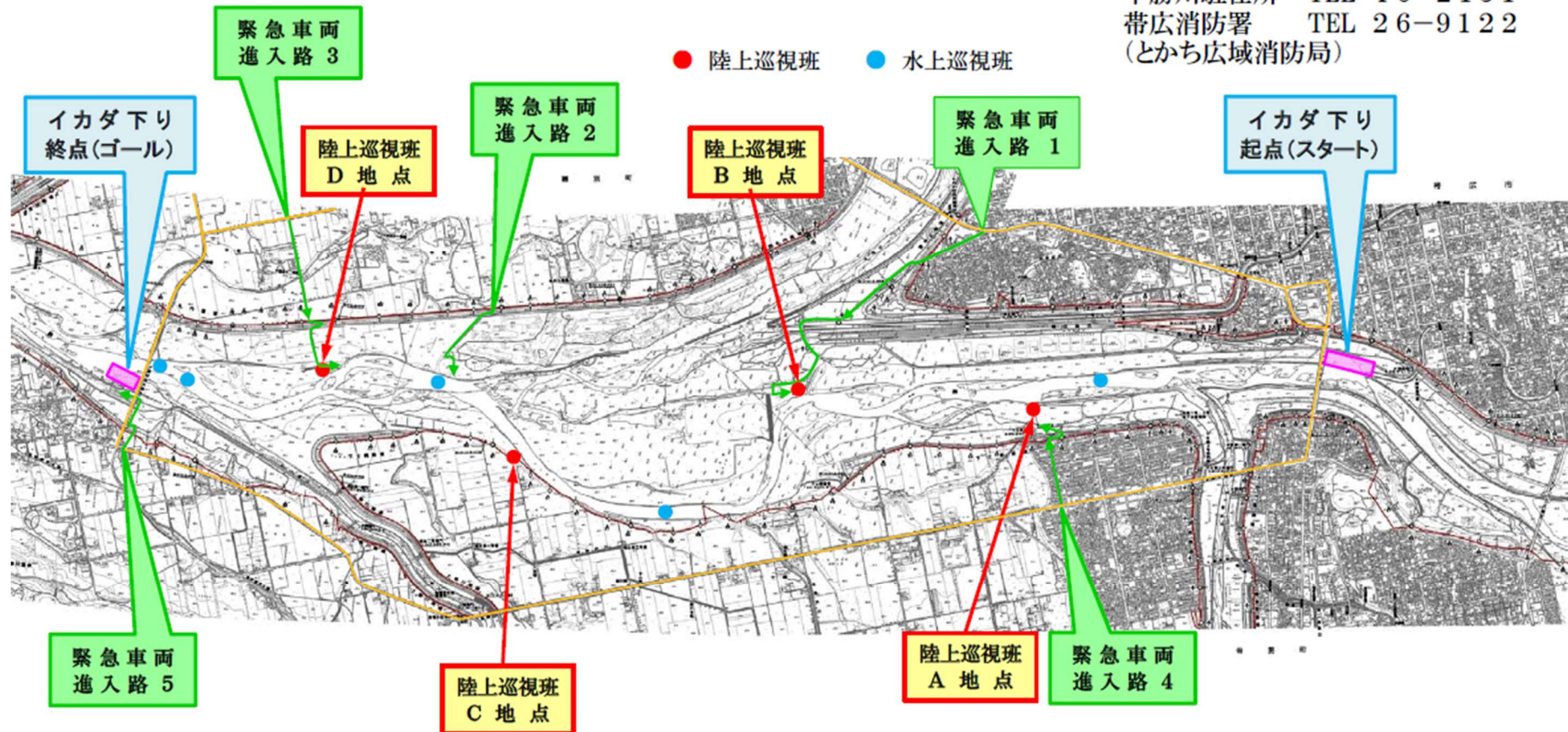


ゴール地点周辺図



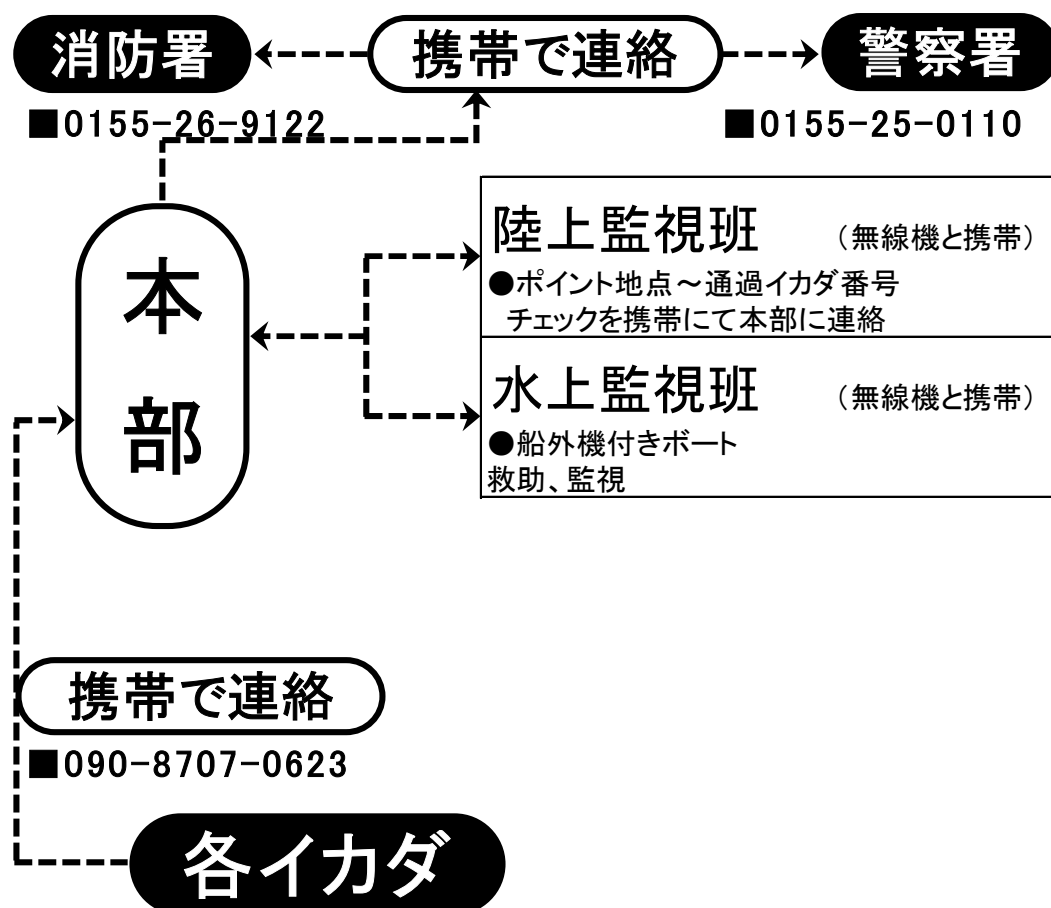
《監視班配置、緊急連絡と組織形態》

帯広警察署 TEL 25-0110
 十勝川駐在所 TEL 46-2151
 帯広消防署 TEL 26-9122
 (とかち広域消防局)



【緊急時の連絡】

緊急連絡と組織形態



【中止時の連絡】

- 河川水位の状況による開催可否の判断は、前日(15日正午12:00)に行います。但し、降雨が予測される場合は、以下のとおりとします。
- 降雨状況による判断は、当日(16日午前6:00)に行い最終決定します。

参加者の皆様には、ご迷惑をおかけして申し訳ありませんが、開催確認のお問い合わせは、右記担当者またはHPでの確認をお願い致します。
<http://www.tokachigawa-ikada.net/>

※ 7月16日に開催出来ない場合は、7月30日開催予定とします。

お問合せ先
船番号(貸イカダ 1~27) → 畠山 tel 090-5950-5030
船番号(31~53) → 藤堂 tel 090-8707-0623

中止・延期時の連絡対応

4. 水上安全監視班 注意事項

《乗船時の注意事項、救命胴衣着用の注意点》

① 救命胴衣を必ず装着してください！

- ・ 乗船者は全員『必ず救命胴衣を正しく装着』してください。
- ・ 装着後に調整ベルトを利用して、『各人の体にフィットするよう調整』してください。締め付けが緩いと、簡単に外れてしまいます。
- ・ 全身が濡れることを前提として『入水しても良い服装』をしてください。水を含むと重くなる素材は水中で動きにくくなります。
- ・ 『貴重品や濡れると困るもの、落としやすいものは、陸上に置いてください』。水中に没した場合は、ほとんど回収は不可能です。



② 川に落ちてあわてないでください！

- ・ イカダが転倒して、川に投げ出されることも考えられますが、あわてず、『近いイカダに声をかけて助けてもらう』か『陸上や水上の救助人員に伝えて救助』してもらってください。
- ・ もしもイカダから離れて流された場合でも、『無理にイカダに戻ろうとせずに、岸に上がるか、救助ボートに助けを求めて』ください。
- ・ 『イカダや障害物に挟まれないよう注意』してください。川の流れによる力がかかっているのので、一人の力では簡単に脱出することが出来ません。水中に落ちた場合は、『イカダの左右両側に廻る』ようにしてください。

③ 全員で漕ぎ、障害物（流木・構造物）を回避してください！

- ・ イカダは簡単に方向を変えることが出来ません、『早くからの回避行動』を行うこと。
- ・ 回避は『全員で漕ぐ』ことが必要です。『パドルか竹竿等を全員分』準備してください。
- ・ もしも支障物に引っかかり、後からさらにイカダがぶつかってくる場合は、『イカダを捨て、川へ飛び込んでください！』、そのまま乗船していると、挟まり抜け出せなくなります。

④ 指示に的確に従ってください！

- ・ 実行委員会関係者からの『指示に従った行動』を確実にとってください。
- ・ キャプテンは、『同乗者を統括し、安全を最優先に対処』してください。

【 各人それぞれが自分の身を守ってください！ 】

フィールドでの予防と対処方法

意識のないときは

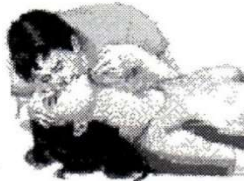
気道確保 AIRWAY



気道確保とは空気の出入りする通路を確保(開く)することであり、心肺蘇生法で最も大切なことである。片方の手を前額部から前頭部にあて、もう一方の手の人さし指と中指を下あごの先の骨の部分に当てて、あごを持ち上げ気道を確保する(あご先拳上法)

呼吸をしていないときは

人工呼吸 BREATHING



人工呼吸はまず気道を確保し(あご先拳上法)、患者の鼻を前額部においた手の親指と人さし指でつまみ、口を大きく開いて患者の口を覆い息を吹き込む。胸部が動くのを確かめながら、5秒に1回の割合でくり返す。乳児では口と鼻を同時に覆う。

脈が止まっているときは

心臓マッサージ CIRCULATION



胸骨の下半分に両掌を重ねておき、体重を利用して、1分間80～100回くらいで胸骨を圧迫する。心肺蘇生法は、救助者が1人の場合には人工呼吸2回と心臓マッサージ15回を交互にくり返す。

ライフジャケットで正しい流され方。

ライフ・ベストの着用は当然だが、流れが急な場合は、それでも溺れてしまうことがある。まず、膝より深いところでは無理に立とうとしてはいけない。足を下流に向け膝を曲げ、障害物を足で蹴る要領で流されるのがよい。流れのゆるやかかなところや浅いところまで流されてから、川から上がることを考える。まず落ち着いて、周囲の状況を判断して安全な避難場所を見つけることが肝心。

日射病・熱射病

- 涼しい場所に移動、体温を下げる。
- 意識があれば水分(スポーツ飲料がよい)を補給。

日焼け・UV対策

- 日除けの帽子・タオルサングラス等で防いで下さい。

脱臼

- 竿などで川底を押した反動で脱臼をする場合が有ります。注意して下さい。脱臼した場合は患部を冷し、間接を動かさないようにし、大会本部へ連絡。

沈して、水に溺れている人。

●手当ての手順

- 1.手当ては早く行うにこしたことはない。うつむきで溺れている場合は、水中で、頭、首、胴体を両腕ではさむようにして静かにあおむけに。
- 2.つぎに、首を損傷していることがあため、頸部を保護してそとと気道を確保し、口対口人工呼吸を行う
- 3.水中から引き上げたら、できるだけ平坦な場所で患者をあおむけに寝かせ、脈拍の有無を調べる。のどに水中の汚物がつまっていたり、口対口人工呼吸を正しく行ったのに呼吸を回復できないようなときは、指交差法で患者の口を開き、口腔内を観察する。異物があれば、患者の顔を横向きにし、それをかき出すように取出す。
- 4.人工呼吸を行って、水が口腔内に流出してくるような場合には、顔を横に向け、水を出させる。手当てが終わったなら、体の水分をふきとり、毛布やシートなどで全身をくるむなど保温して医療機関へ運ぶか医師や救急隊員を待つ

ハチにさされたら

ハチに刺されたらまず…

- できるだけ現場から遠ざかる。巣が近くにある場合などは、その直後に集団で二次攻撃される危険があるから。現場から数10メートル離れれば、まず追ってくることはない
- 毒を押し出すすぐに、刺された部位を指で強くつまみ、毒を押し出す。
- 傷口を洗浄し、冷す。毒液は水に解けやすいので、水で洗ったりぬれ手ぬぐいを当てる流水中で傷口をつまみ上げるようにして洗うと、より効果的。近くに水道水などが無いときには、水筒の水、刺激のない飲料水などで洗浄する。洗浄後も患部をよく冷す。
- スズメハチ 体を曲げて、針を人間に向けカチカチと威嚇音を出してきたら攻撃態勢。背を低くして、ゆっくり後ろに下がって逃げる。手を振るなどの速い動きはスズメハチを刺激するので、近づいてきたらゆっくり避難すること。巣の位置がわかっている場合、そこから数10m離ればかなり安全。襲われた場合は、頭上で衣類などを振り回し、ハチの攻撃をそらすようにする。もし、体にとまってしまったら、払い落とさずに、真上からおもいきり平手でたたきつづ

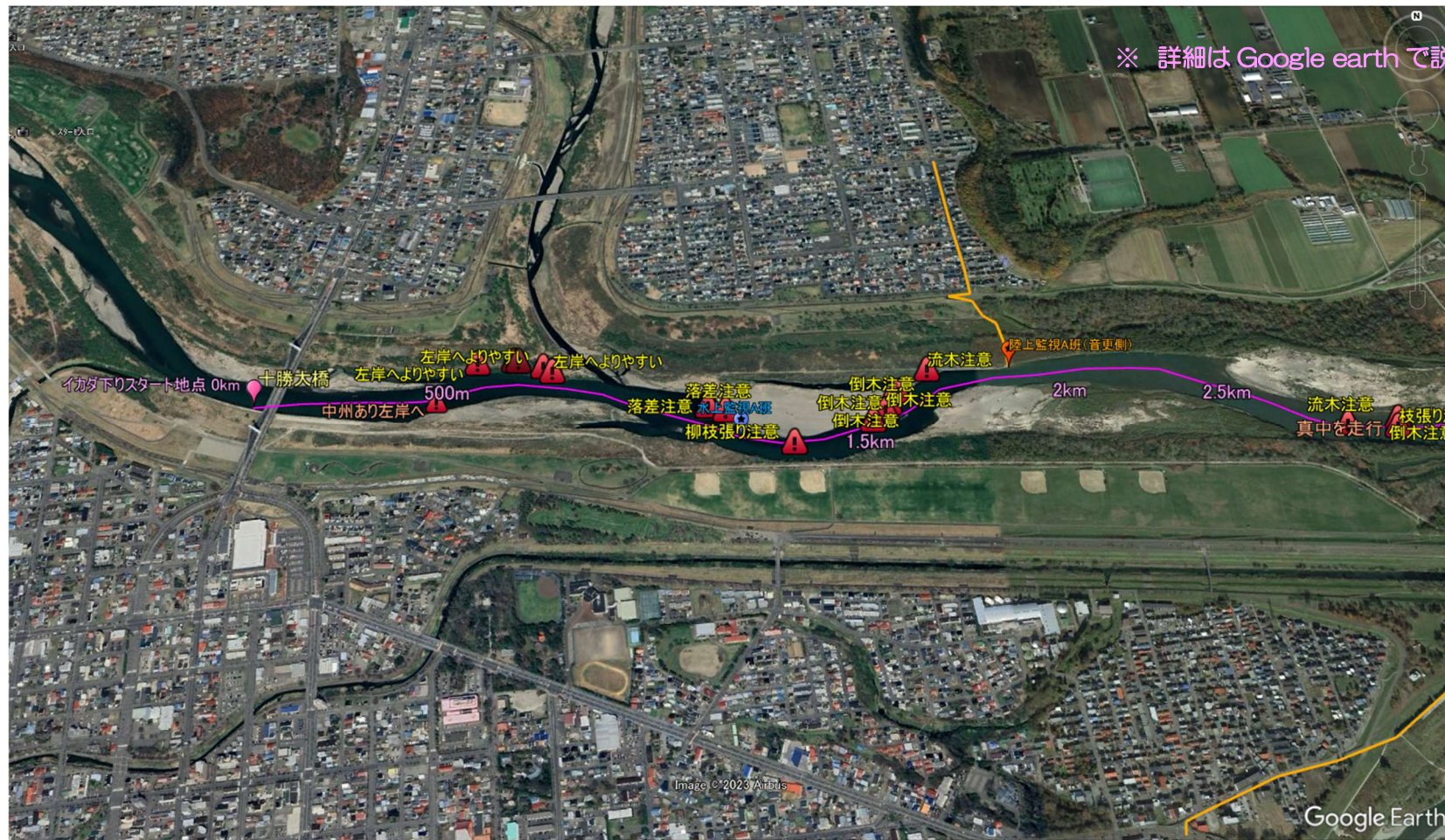
BE-PAL/アウトドア救急ハンドブックより引用



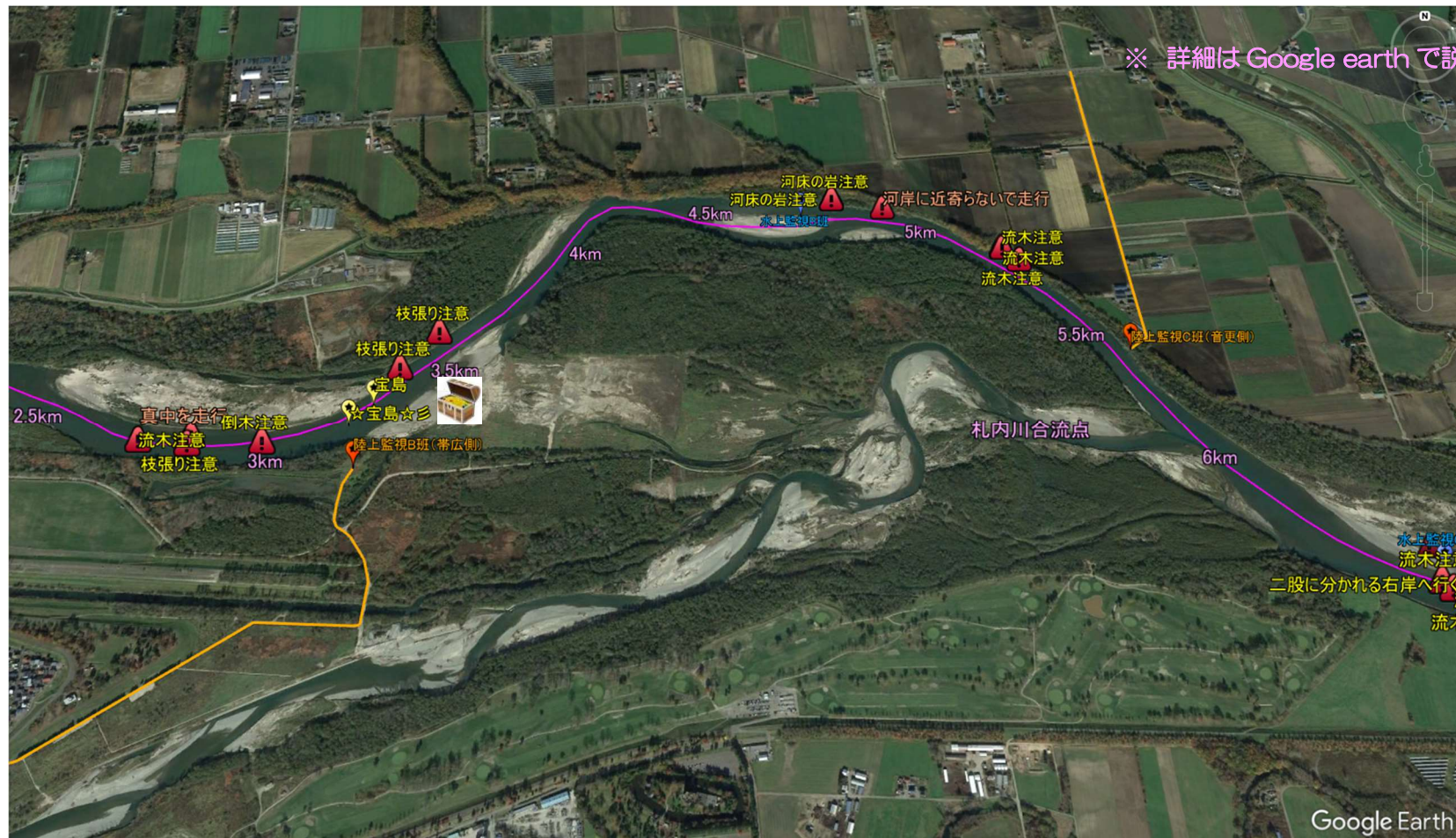
ライフジャケットでの正しい流され方。
← 動画はこちら

<https://youtu.be/9dEp1X7neUc>

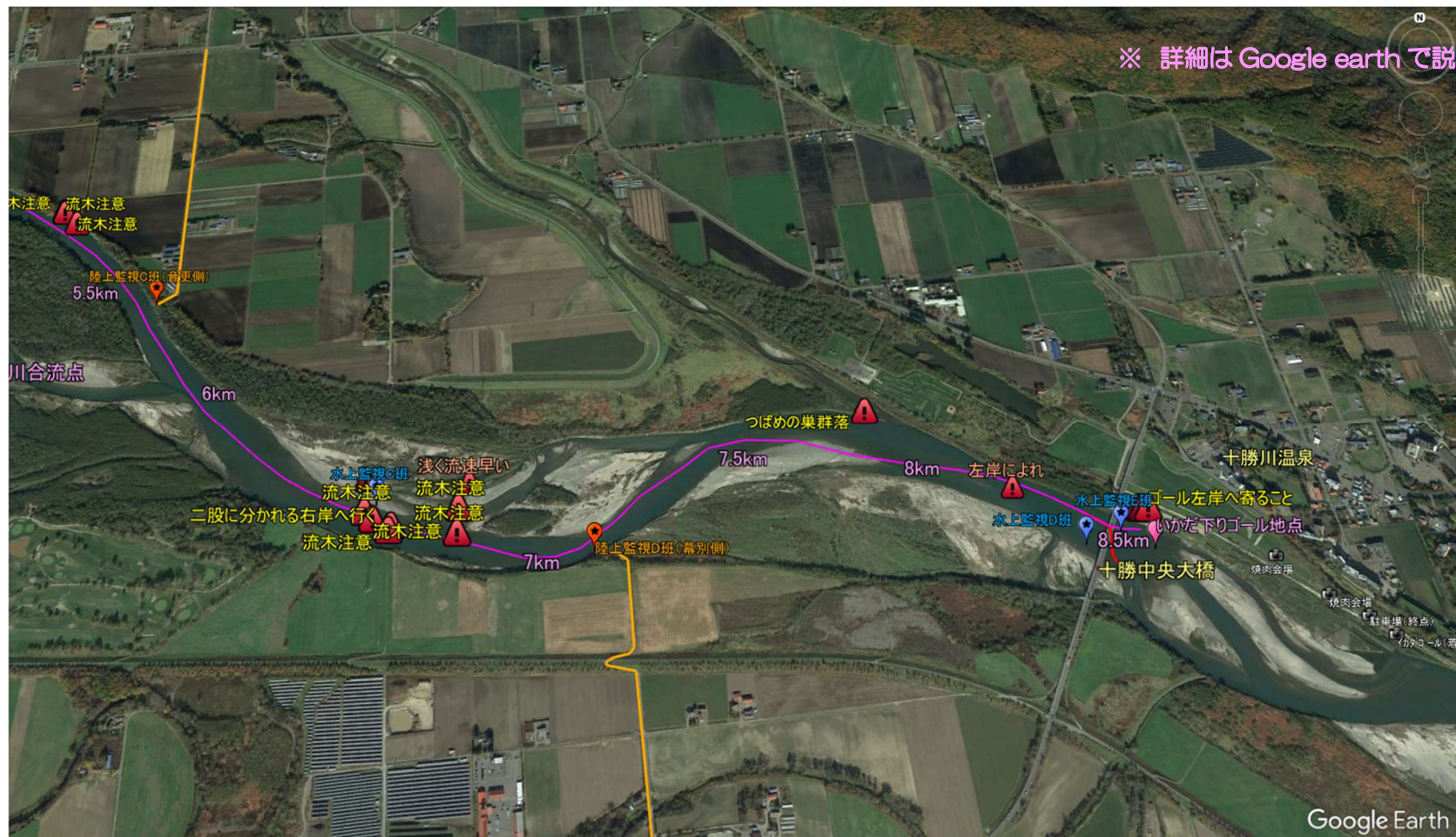
《河道状況（危険箇所） 1 / 3》



《河道状況（危険箇所） 2/3》



《河道状況（危険箇所） 3/3》



5. 十勝川イカダ下り Q&A

Q1 当日は、どんな服装が望ましいですか？

A1 川に落ちることも想定し、濡れても構わない服装として下さい。日焼けや傷を防ぐため肌を露出しない服装が望ましいです。

Q2 どんな履物が望ましいですか？

A2 サンドルはOKですが、フックの付いた脱げづらいものとして下さい。長靴はNGです。ゴール地点ではイカダを岸まで上げる作業があるため、裸足は危険ですでお止め下さい。

Q3 イカダを製作する場合の注意点を教えて下さい。

A3 浮かば良いです。必ず予備のチューブを2mほどのロープで本体に取り付けて下さい。また、船番号も必ず取り付けることとし、破損しないよう工夫して下さい。是非遠くから見やすいように。

Q4 キャプテンの主な仕事は何ですか？

A4 チームの安全を守ることです。キャプテンはキャプテン会議に参加し、危険行為や注意事項を確認した上で、クルーに対しそれらを伝えなくてはなりません。またイカダ下り開催日当日の非常事態に備え、必ず防水対策を取られた上で携帯電話の持参が必要です。

Q5 イカダ上で、飲食は自由ですか？

A5 飲食は原則自由ですが、アルコール類は事故防止の観点から禁止しております。また、ゴミを川に投棄することも厳禁です。

Q6 イカダ下りが順延となる目安は、水位で決まるのですか？

A6 はい、そうです。水位が32.45mを超えれば、前日の正午に順延と決定します。多少の雨では順延とはなりません。HPでご確認下さい。⇒ <http://www.tokachigawa-ikada.net/>

Q7 降雨状況により順延と決定されるのはいつですか？

A7 大雨の予報が出れば当日の朝6時に判断します。HP又は、事務局へお問い合わせください。（事務局の電話番号はキャプテン会議の資料でご確認下さい。）なお、順延の場合は、翌々週の日曜日となります。

Q8 順延となった場合、参加者が減る、或いは誰も参加できない場合、参加料は戻りますか？

A8 申し訳ありません。保険料とお肉代はキャンセルが効きませんので、お一人様につき2000円だけ頂戴いたします。⇒ 貸しイカダの場合 4500-2000=2500円を、一般イカダの場合 2500-2000=500円をお返しします。

Q9 返金は銀行振込ですか？

A9 送金に振込料がかかりますので、延期日当日、会場受付へお越しいただきます。どうしてもお越し頂けない場合は銀行振り込みいたしますが、送金料はご負担願います。

Q10 お肉を用意していただけるとのことですが、追加はできますか？

A10 お肉の追加は、チームそれぞれでご用意ください。実行委員会でご用意できるのは、お一人様350円です。なお、焼き台が不足しておりますので、チームでご持参頂ければ大変助かります。

Q11 1人で貸しイカダにて参加しますが、ゴール地点からスタート地点までの移動はどうしたらよいですか？

A11 予め、ゴール地点にお車を置いておくか、どなたかに送迎していただけて下さい。実行委員会では送迎はいたしません。

Q12 一般イカダの表彰が13時からとのことですが、この時間帯は皆、所用があり会場を後にしています。表彰された場合、辞退せねばなりませんか？

A12 いいえ、登録されているキャプテンの携帯電話にご連絡します。その際、賞金あるいは商品の受領場所を（郵送も含めて）ご相談させていただきます。

Q13 前日のうちに一般イカダのチューブに空気を入れたいのですが、スタート地点にコンプレッサーはございますか？

A13 もちろんございますが、皆様がそうされますので順番待ちとなります。ご了承ください。

Q14 女性です。バッグをイカダに持ち込みたいのですが、流されるのが心配です。

A14 イカダにくくりつけるなど工夫して下さい。バッグやスマホ等を落とされた場合、発見は不可能ですし、こちらでは一切保証できません。

Q15 ゴールした後、貸しイカダはどこに移動すれば良いですか？

A15 必ずクルー全員でチューブを取り外し、エアーを抜いて所定の場所（スタッフが指示します）へ移動して下さい。イカダの置き去りは厳禁です。

Q16 今後、キャプテン会議にはリモートで参加したいのですが可能ですか？

A16 参加料の徴収、船番号のフラッグ渡しなど、リモートでは困難なため、遠方者を除いては極力参加して下さい。

6. 十勝川感謝記念イベント

《宝をゲットしよう》



- 1) 宝島の場所はスタート地点から 3.3km 付近の右岸側です。
- 2) 宝島にはポールに取り付けた風船があります。また、「宝島・宝探し」の看板が設置されていますので、これらを目印にして上陸して下さい。
- 3) 危険が伴いますのでイカダは無理して宝島に接岸をしないようにして下さい。
- 4) 宝島には「ナンバー入りボール」が埋まっていますが、「キャプテン・クック船長」が居て宝の情報を与えます。
- 5) 安全に接岸できたイカダメンバーは、ナンバーの書いてあるボールを 1 チーム 1 個持ち帰ることができます。ゴール後ナンバーに応じた景品が当たります。
- 6) キャプテンはボールを持って賞品授与時に船番とボール番号を提示してください。



《熱気球に乗って十勝川鳥瞰》

●係留時 注意事項

- ・風が穏やかであれば、基本的に安全な乗り物です。
- ・必ず受付をしてください。
- ・係留ロープは急激に力が加わり且つ予想外の動きをすることがありますので、搭乗時以外はアンカー車より内側へ入らないでください。
- ・事情を知らず入っている方へは注意を呼び掛けてください(子供など)。
- ・ゴンドラ搭乗時はスタッフの指示に従い、一人搭乗してから一人降りるという事を事前に認識してください(一人登場しないうちに降りると気球が浮き上がってしまいます)。
- ・降りたあともスタッフの指示に従い一方向からアンカー車より外側に出てください(降りたあとは油断しがちです)。
- ・基本的にロープはまたがず、くぐってください。



《十勝川流域生産原料の“アンパンまき”》

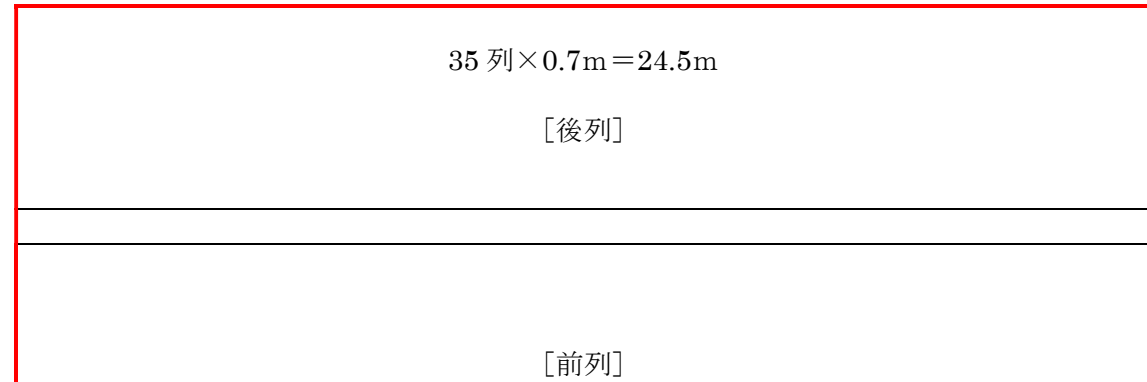
ゴール地点のやぐら「十勝川治水 100 周年」の横断幕、「十勝川イカダ下り 50 周年」の垂れ幕の前で **“アンパンまき”** をします。

参加者、一般観衆、サポーター等全員参加で拾ってください。



拾ってください！

7. 集合写真撮影要領



(巾は 8.5m)



横断幕：5m×0.9m

[各キャプテンは、チームごとに並ぶ。参加チームを 2 列にし、前列と後列に分けて整列]

撮影：赤本・室瀬氏

注意 1：写真撮影には、実行委員・ボランティア全てが参加する事。

注意 2：地上とドローン撮影を行います。ドローン撮影の時は立入禁止区域を示しますのでご協力をお願いします。

注意 3：実行委員会が撮影する写真は、イカダ下りの広報等に使用させていただきますのでご了承をお願い致します。

2019年
(令和元年)
第47回
受賞チーム



▲優秀賞/49番
ほんま『なつぞら』でんねん号
キャプテン篠田博行(7名)



▲1等賞/45番
大江病院50周年記念号
キャプテン佐藤昌弘(13名)



▲実行委員長賞/11～16番貸しイカダ
ノース戦隊(イエロー、ブルー、ブラック、レッド、ピンク)
キャプテン 塚田宏明(17名)



◀2等賞/42番
てしかが筏 浮楽浮楽(ふうらふうら)
キャプテン齊藤拓史(2名)



◀3等賞/63番
HKなつぞら号
キャプテン長谷川堅祐(5名)



▲北海道新聞賞/1番貸しイカダ
株式会社鉄建
キャプテン 松本真輔(4名)



▲十勝毎日新聞社賞/55番
K'sstyle(ケーズスタイル)
キャプテン本間真琴(6名)